

# ISAAT2018

## The 21st International Symposium on Advances in Abrasive Technology in Toronto, Canada

### ★★★ 早割料金(7/31までの申込分) ★★★

【コース1】 ¥225,000(2名1室・朝食付、諸空港税別途)

【コース2】 ¥209,000(2名1室・朝食付、諸空港税別途)

(空港税別途、羽田¥2,670、現地税¥5,700、燃油サーチャージ ¥22,000)

※こちらの税額は18.5月現在のものです。空港税額は予告無く増額・新設されることがありますのでその際は徴収額を変更する場合がございます。

### ★通常料金(8/1以降の申込)

【コース1】 ¥245,000(2名1室・朝食付、諸空港税別途)

【コース2】 ¥229,000(2名1室・朝食付、諸空港税別途)

日次	日付	都市名	交通機関名	時間帯	適用
1	10月14日 (日)	東京発 トロント着	専用車	午後 夕方  夕方	東京発、直行便にてトロントへ  着後、専用車にてホテルへ Registration & Reception  (トロント泊)
2	10月15日 (月)	トロント滞在		終日	ホテルにて朝食 ISAAT2018ご参加  (トロント泊)
3	10月16日 (火)	トロント滞在		終日	ホテルにて朝食 ISAAT2018ご参加  (トロント泊)
4	10月17日 (水)	トロント滞在		終日	ホテルにて朝食 ISAAT2018ご参加(Technical tour)  (トロント泊)
5	10月18日 (木)	トロント発	専用車		ホテルにて朝食 ホテル発、空港へ  直行、または経由にて東京へ  (機内泊)
6	10月19日 (金)	東京着			

◆利用予定航空会社: エアカナダ(エコノミークラス)

◆利用予定ホテル: 【コース1】チェルシーホテルトロント(ISAAT会場)

【コース2】エコノロッジ イン ダウンタウン(会場ホテルまで徒歩約8分)

◆一人部屋追加代金(4泊分): チェルシーホテル ¥61,000

エコノロッジ イン ダウンタウン ¥38,000

◆日本国内線ご希望の方は別途お見積致しますので、お問合せください。

◆添乗員: 同行いたします

## 【 旅行条件 】

・最少催行人員 15名様

・申込締切日 早割料金 2018年 7月 31日(火)  
通常料金 2018年 9月 1日(土)

・旅行代金に含まれるもの

- (1)航空運賃:日程表に記載された区間(団体エコノミークラス)
- (2)宿泊代金:トロント4泊(2名様1室利用)
- (3)バス・ガイド代金:空港-ホテル間、及び日程表に記載される区間
- (4)手荷物運搬料金:航空会社の規定内
- (5)日程表に記載される食事代(朝食4回)

・追加旅行代金

- (1)お一人部屋利用代金 チェルシーホテル ¥61,000(4泊分)  
エコノロッジ イン ダウンタウン ¥38,000(4泊分)
- (2)日本国内線利用 別途お見積致しますので、お問い合わせください。

・旅行代金に含まれないもの

※上記以外は旅行代金に含まれませんが、参加にあたって通常必要となる費用を例示いたします。

- (1)旅券印紙代・証紙代
- (2)個人的性格の費用:飲食代、クリーニング代、電話代など
- (3)手荷物超過料金
- (4)傷害、疾病に関する医療費
- (5)任意の海外旅行傷害保険料

・取消料

**※8/30(木)より取消料の対象となります**

お申し込み後、お客様の都合で参加を取り消される場合は、次の取消料をお支払いいただきます。

1. 旅行開始日の前日から起算してさかのぼって、  
45日前から3日前までの取り消し-----旅行代金の30%
2. 旅行開始日の前々日以降旅行開始日までの取り消し  
-----旅行代金の50%
3. 旅行開始後または無連絡不参加-----旅行代金全額

・お申し込み方法

弊社ホームページ、ISAAT2018お申込フォームにご記入ください。

<http://www.scoop-japan.com>

※お申込後、確認の自動返信メールが届きます。その後担当者よりご予約成立メールをさせていただきます  
※上記内容は受注型企画旅行企画書面です。

・お問合せ

株式会社スコープジャパン(東京都知事登録旅行業第3-5659)

〒105-0004 東京都港区新橋1-5-5国際善隣会館9F

Tel : 03-5568-7501 Fax : 03-5568-7503

E-mail : [isaat@scoop-japan.com](mailto:isaat@scoop-japan.com)

担当 : 田中 陽子, 小澤 高志

